



進路だより —第1号—

令和6年9月6日(金) 福島県立視覚支援学校 進路指導部

コロナ禍も、自己成長をする糧として

校長 佐藤 清悦

過日、第12回福島県特別支援学校作業技能大会が実施され、本校からもパソコンデータ入力部門(ビッグパレットふくしま会場)や、あん摩・鍼施術評価部門(本校会場)に出場し、学校とはまた違った緊張感を味わう中、自己ベストを更新したり、専門家から適切なアドバイスを受けたりするなど、自分を高める絶好の機会となりました。チャレンジする精神や地道に努力を重ねる姿は、今後の生活にきっと生かされていくに違いありません。生徒の皆さん、本当にお疲れ様でした。

さて、今年度も間もなく、新規高卒者による企業選考試験(一般就労)が解禁(9/16)となります。実業系の高等学校や一部の特別支援学校高等部では、すでにこの夏季休業中から試験日に向けた準備が進められています。

ここで気になる情報が1つあります。厚生労働省によりますと、新規高卒者の3年以内の離職率は令和5年で37.0%(令和4年は35.9%)に上るといことです。つまり3人中1人、会社によっては3人中2人が3年以内に離職しているという結果です。年次別では、1年目が15.1%、2年目で11.7%、3年目は10.2%と、高卒1年目が一番、離職率が高くなっています。この状態は、福島県でも同じように見られています。続いて離職理由をみると、「人間関係が上手くいかなかった」、「仕事の内容や配属先が自分には合わなかった」、「給料・待遇がよくなかった」が上位3項目になります。また、産業別で見ますと、離職率が最も高かったのが、「人と接する機会の多いサービス関係の仕事:60.6%」となっており、理由として、「コミュニケーションが難しい」、「仕事がハードでキツイ」、「賃金が低く、休日が少ない」などがあげられています。

このように、離職の理由には、「人間関係」や「組織・社風」といった、主に『人』が影響しているようです。また実際に働いてみると、自分のイメージとまったく違っていたという、ミスマッチや悩みに対する相談体制も整備されていないことも、早期離職に大きく関係しているようです。

また、関連して、県内の多くの高校では、この3~4年間、ずっとコロナ禍の影響でインターンシップを行うことができませんでした。企業との接点が圧倒的に減り、職場見学もできないまま就職試験を迎えることや、試験そのものも、直接の対面ではなく、オンラインによる面接が増えたことなど、会社や人に対して距離を感じながらの入社という背景がありました。加えて、学校生活をみても、在籍した3年間すべてがマスク生活となり、体験的な活動や人と対話する機会が圧倒的に減った状況は、今でも記憶に新しいことです。さらに企業側も、景気回復や雇用者確保の観点から画一的な情報のみで採用した会社も一部あったようです。

一方、県内の特別支援学校はというと、コロナ禍の中ではありましたが、感染症対策を講じながらもあらゆる面で工夫に工夫を凝らし、日々の授業をはじめ体験的な活動や校内外での実習を可能な限り実施し、生徒たちの主体性を育み、また、対人関係やコミュニケーション能力の育成など、生徒たちの抱える個々の課題にも、学びを止めず、計画的に取り組んできました。

なによりもコロナ禍(課題)ではなく、生徒を真ん中において指導支援してきたことで、生徒たちは着実に力をつけ、自分を成長させることができました。本校でも、全く同じでたくましく学んできた経緯があります。現在、在籍者数の少ない環境にはありますが、引き続き、地域資源を活用した体験的な活動や、多種多様な人と関わる機会を積極的に設けながら、人とのふれあいや対話から、多くの刺激を受け、新たな興味関心や多様な考えをもつ、深みのある学びから、自己を成長させてほしいと考えます。これまで蓄えてきた力とこれから身に付けるスキルを生かしながら自分に合った進路を選択し、進路実現に向かって躍進していくことを期待しています。

1 第32回(令和5年度)あはき国家試験結果

	あん摩マッサージ指圧師		はり師		きゅう師	
	全体	視覚障害	全体	視覚障害	全体	視覚障害
受験者数	1,296	274	4,084	189	4,010	180
合格者数	1,148	202	2,877	108	2,875	103
合格率(%)	88.6	73.7	70.4	57.1	71.7	57.2

2 第32回(令和5年度)本校卒業生の国家試験結果

	あん摩マッサージ指圧師	はり師	きゅう師
合格率(%)	100%(4名中4名)	67%(3名中2名)	67%(3名中2名)



※他校と比べても、とても高い合格率になっています!

3 令和5年度卒業生の進路先について

	科	進路先
高等部	普通科(3名)	進学(専門学校):1名 福祉サービス事業所(B型:生活介護):2名
	本科保健医療科(1名)	進学(本校専攻科医療科):1名
	専攻科医療科(3名)	就職:福祉協会職員:1名 開業:1名 就職準備:1名

4 令和6年度 進路指導部 年間計画(概要)

4月:新入生オリエンテーション
 進路保護者説明会(理療科)
 前期進路希望調査(小・中・高)

6月:前期進路週間(中・高)

7月:進路説明会
 進路面談

9月:後期進路希望調査(中3、高)
 職場・施設見学(PTA研修)
 ハローワーク求職者登録(高3)
 進路だより①発行

11月:後期進路週間(中・高)
 国家試験保護者説明会(理療科)

2月:移行支援会議(高3)
 あはき国家試験(理療科)
 進路だより②発行

3月:あはき免許申請業務(理療科)

通年:進路関係機関訪問
 進路開拓
 卒業生アフターケア

5 進路説明会について

7月12日(金)に進路説明会を実施しました。講師に、「社会福祉法人陽光会 清心荘指定相談支援事業所」相談支援専門員の木田尚文様をお迎えして、御講演いただきました。「卒業後の豊かな生活を目指すために」と題し、様々な福祉サービスの内容や卒業後のサービス利用に向けた手続き等について詳しく御説明をいただきました。

年齢に応じたサービス利用の内容や、卒業後の新たなライフステージへ進むための大事な手続きについて改めて確認する貴重な機会となりました。また、質疑応答でも気さくに御対応いただき、大変実りある説明会となりました。



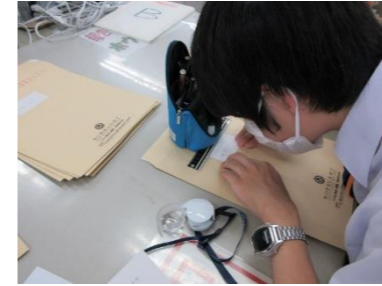
6 本校 note のご紹介

本校幼児児童生徒の活動を、本校 note で紹介しております。

<https://fukushimasb-shs.note.jp/>

進路関係では、6月に高等部の前期進路週間を実施しました。

進路週間中の各生徒の実習、見学、体験等の内容や気づき、得られた学びなどについては、note に紹介しております。



今後の進路について考える上で、中・高等部の保護者の皆さまはもとより、幼小学部部の保護者の皆さまも、ぜひご覧ください。

7 進路コーナーの紹介

北校舎1階、児童生徒用昇降口から一番近い相談室に、進路指導部のコーナーがあります。廊下にも、学校案内や就労に関するパンフレットなど、進路に関する資料を置いてあります。本校に足を運んだ際など、ぜひご覧ください。

福祉等のサービスについては、基本的には、お住まいの自治体(市町村)にお問い合わせください。相談したい内容をお話しいただくと、適切な相談窓口を紹介してもらえます。

また、進路に関わることで御質問等お持ちの場合には、進路指導副主事 高等部 熊谷が窓口となっております。お気軽にお声かけください。

